

□ 情報提供項目

新型コロナウイルスのワクチン接種や市のイベントなどについて市長からお知らせした。

□ 記者との質疑応答

記 者 久慈～八戸の高速バスだが、令和3年度はコロナの影響で乗客も少なかったと思うが、今年度は市としては支援など、どのような考えがあるか。

市 周知PRを徹底して行うこととしている。前年度はコロナの波がちょうど来たところに重なり、なかなか利用いただけなかった。今年度は、実証運行のルートを見直し、利用行動範囲を広げられるようにした。旭ヶ丘営業所前で乗り換えて市内に移動も可能である。また日赤にも停車するので、病院に通う人にとっても利便性が広がる。

記 者 将来の定期実現に向けても大事な2年目になると思うが、どのように考えているのか。

市 昨年度は、コロナが増えた時期と重なってしまい非常に残念であった。今はバスが人気となっている。八戸駅はすべての新幹線が発着するという条件がある。使い勝手がよく利便性が増えてくると思う。通勤通学、病院を含め市民生活に欠かせないものである。観光面でも景色がいいところを走るの、両立を図っていくことが必要だと認識している。営業ベースで走らせていただくためにも、市も県北バスに協力し利用促進を図っていきたい。

記 者 風力発電だが、インベナジー・ウインド合同会社の件で、県が7月に久慈平庭自然公園を外すよう意見書をお願いをしたが、地元自治体としての受け取めを教えてほしい。

市 市は、再エネ、カーボンニュートラルを進めている。陸上の風力発電事業も非常に大事だと思っているが、やはり自然と共生するのは大事なところだと思っている。経済活動、事業が最優先ではなく、守るべき自然環境は守っていく。市においても県立平庭自然公園は白樺の再生事業に取り組んでいる。岩手県と歩調を合わせて同じ姿勢で取り組んでいくこととしている。

記 者 外れれば自然エネルギーの路線にはまるということか。

市 企業がどのように対応するかが大きいと思う。洋上風力もそうだが、電力事業最優先となると、協力いただいて進めなければいけない。

記 者 市役所庁舎のワーキングの件だが教えてほしい。

検討会は、8月10日に2時から開催する。財政課長を座長とし、庁内の各部から1人以上の係長が出席。庁舎の移転や建て替えの意見交換を年度末まで続けていきたいと思う。1回目は庁舎の課題の洗い出し、移転するかどうか含めた内容の洗い出し、ワーキング会の今後のスケジュールなどを検討したい。今後については、月1程度で進めて行きたいと考えている。

記 者 建て替えるという方向性はあるながら、この場所か違う場所か検討することで良いか。

市 建設後40数年経っている。いずれにせよ、津波に関係なく建て替えを見据えなければいけない。津波に対応した庁舎を建設するのか、浸水区域外に建てるのか、機能を集中化させるか、小さな庁舎を分散化するかなど何パターンか示せるようにしたいと思っている。

記 者 参考までに現庁舎を含め久慈市の庁舎の建築年や広さはどれくらいになるのか。

市 庁舎の完成は昭和 49 年 8 月。耐震工事は、平成 27 年に耐震の改修を行い震度 6 に耐えられるようになっている。床は 7,073 平米。今回の検討会では同程度の庁舎を想定しながら検討していきたい。別棟の車庫棟は平成 27 年 3 月完成。床面積は約 12,000 平米である。

記者 確認だが、建て替えの検討は老朽化と津波対策の 2 点ということによいか。

市 その 2 点と捉えていただいて良い。